

再 評 価 調 書 (案)

I 事業概要					
事業名	砂防等事業（通常砂防工事）				
地区名	どうのさわ 洞ノ沢				
事業箇所	きたしたらぐんとうえいちょうおおあざしもだ 北設楽郡東栄町大字下田地内				
事業のあらまし	洞ノ沢は、愛知県北設楽郡東栄町大字下田に位置する溪流で、下流には、人家が密集した住宅地や道路などが存在し、土石流が発生した場合には、人命や財産に大きな被害が及ぶ危険性がある。本事業は、こうした土石流による被害を防止するため砂防設備を整備するものであり、2015年度に着手した。				
事業目標	【達成（主要）目標】 人家20戸、国道473号（第2次緊急輸送道路）、町道、郵便局、神社、ポンプ場を土砂災害から保全する。 【副次目標】 －				
計画変更の推移		事前評価時 (2014年度)	再評価時 (2023年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2015年～2023年	2015年～2031年	事業内容の変更に伴う延長	
	事業費（億円）	4.5	8.0		
	経費内訳	工事費	3.0	6.1	事業内容の変更に伴う増加
		用補費	0.5	0.5	
		その他	1.0	1.4	事業内容の変更に伴う増加
事業内容	砂防堰堤工2基	砂防堰堤工3基 溪流保全工80m 橋梁工1基			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	【事前評価時の状況】 土石流による土砂災害から人家20戸及び国道、町道等を保全するため、事業採択を受けた。 【再評価時の状況】 保全対象の施設等は現存しており、事業採択時から変化はない。 【変動要因の分析】 事業の必要性に変化なし。			
	判定	B	A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適切ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。 【理由】 事業着手時から事業の必要性について変化はないため。		

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>2031</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地・補償</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1号堰堤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号堰堤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3号堰堤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>計画</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.2</td> <td></td> <td></td> <td>0.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>0.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.6</td> <td></td> <td></td> <td>8.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">事業採択時計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">変更後計画に対する全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>4.5</td> <td>1.3</td> <td>28.9%</td> <td>8.0</td> <td>16.3%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>3.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0%</td> <td>6.1</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.5</td> <td>0.0</td> <td>0.0%</td> <td>0.5</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1.0</td> <td>1.3</td> <td>130.0%</td> <td>1.4</td> <td>92.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】 これまでに、2015年から国の事業採択のための調査・協議を実施し、採択後、2017年から堰堤の設計3基、溪流保全工の設計80m、法面の設計2箇所、管理用道路の設計1式、橋梁の設計1基を実施している。</p>		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	合計	工種区分	調査・設計																			用地・補償																			工事																			1号堰堤																			2号堰堤																			3号堰堤																				事業費(億円)	計画	0.6				3.2			0.7										4.5	実績	0.3				1.0													1.3	今回計画	0.3				1.0				3.1						3.6			8.0		事業採択時計画に対する達成状況			変更後計画に対する全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	-	-	-	-	-	事業費(億円)	4.5	1.3	28.9%	8.0	16.3%	工事費	3.0	0.0	0.0%	6.1	0.0%	用補費	0.5	0.0	0.0%	0.5	0.0%	その他	1.0	1.3	130.0%	1.4	92.9%
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	合計																																																																																																																																																																																																																									
	工種区分	調査・設計																																																																																																																																																																																																																																										
		用地・補償																																																																																																																																																																																																																																										
		工事																																																																																																																																																																																																																																										
		1号堰堤																																																																																																																																																																																																																																										
	2号堰堤																																																																																																																																																																																																																																											
	3号堰堤																																																																																																																																																																																																																																											
	事業費(億円)	計画	0.6				3.2			0.7										4.5																																																																																																																																																																																																																								
		実績	0.3				1.0													1.3																																																																																																																																																																																																																								
今回計画		0.3				1.0				3.1						3.6			8.0																																																																																																																																																																																																																									
	事業採択時計画に対する達成状況			変更後計画に対する全体進捗状況																																																																																																																																																																																																																																								
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																																																																																																																																																							
延長(km)	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																							
事業費(億円)	4.5	1.3	28.9%	8.0	16.3%																																																																																																																																																																																																																																							
工事費	3.0	0.0	0.0%	6.1	0.0%																																																																																																																																																																																																																																							
用補費	0.5	0.0	0.0%	0.5	0.0%																																																																																																																																																																																																																																							
その他	1.0	1.3	130.0%	1.4	92.9%																																																																																																																																																																																																																																							
2) 未着手又は長期化の理由	<p>当初計画時には既設堰堤の下流側の谷形状から堰堤配置の適地がないと判断していたが、現場の条件や地形などの詳細な調査を実施したところ、配置可能な場所が確認できた。また、新たに沢筋が確認され、その土砂流出に対応する必要があることが判明した。そのため、より確実な対策を実施するために堰堤の設置基数を2基から3基に変更、溪流保全工を追加し事業期間を延長し、土石流をより確実に捕捉する。</p>																																																																																																																																																																																																																																											
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 設計が完了しており、今後の阻害要因はない。</p> <p>【今後の見込み】 用地補償について地元との事前調整を行っているため、用地補償を速やかに完了させ、2031年度までに整備完了予定である。</p>																																																																																																																																																																																																																																											
判定	<p>B</p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 事業期間を延長したことにより阻害要因はなく、計画通り2031年の完成が見込まれる。</p>																																																																																																																																																																																																																																											

1) 貨幣価値化可能な効果(費用対効果分析結果)の変化

【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析の算定基礎となった要因変化の有無】
事業費の増加

【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析結果】

区分		事前評価時 (基準年:2014)	再評価時 (基準年:2023)	備考
費用 (億円)	事業費	3.8	7.2	
	維持管理費	0.0	0.0	
	合計(C)	3.8	7.2	
効果 (億円)	被害抑止効果	14.8	13.9	
	合計(B)	14.8	13.9	
	(参考) 算定要因	保全人家数	20戸	20戸
		国道	0.17km	0.17km
	町道	0.88km	0.88km	
費用対効果分析結果(B/C)		3.9	1.9	

※金額は、社会的割引率(4%)を用いて現在の価値に換算したものの。

【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析手法】

- ・(事業採択時) 土石流対策事業の費用便益分析マニュアル(案)(H23年度版)(国土交通省水管理・国土保全局砂防部 H24.3)、治水経済調査マニュアル(案)(建設省河川局 H17.4)に基づき算出
- ・(再評価時) 土石流対策事業の費用便益分析マニュアル(案)(国土交通省水管理・国土保全局砂防部 R3.1)、治水経済調査マニュアル(案)(国土交通省水管理・国土保全局 R2.4)に基づき算出

【変動要因の分析】

- ・事業内容の変更により、砂防堰堤の整備数が増え工事費が増加した。

2) 貨幣価値化困難な効果の変化

【事前評価時の状況】

該当なし

【再評価時の状況】

該当なし

【変動要因の分析】

該当なし

判定

B

- A: 事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。
- B: 事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。
- C: 事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。

【理由】

事業着手時と比べ算定要因に変化はなく、事業費の増加による費用対効果の低下が見られるが、十分な事業効果は確保される見通しがあるため。

III 対応方針(案)

継続

中止: 上記①~③の評価で一つでもC判定があるもの。
継続: 上記以外のもの。

IV 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象(事業完了後5年目) □対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

- ・該当なし

【主な評価内容】

- ・土石流発生による砂防堰堤や保全対象の状況により評価する。

V 事業評価監視委員会の意見

VI 対応方針